

森づくりシンポジウム 「熊本の森林を 次の世代へ」

参加
無料

定員
230名
(要申込)

会場でアンケートにご回答いただいた方に、
くまモン小国杉キーホルダーを
プレゼント！



2024年 8月9日 金
13:00～16:00(開場12:30)

●会場
熊本市国際交流会館 ホール

〒860-0806 熊本県熊本市中央区花畑町4-18

(熊本市電 花畑町下車、徒歩約2分/桜町バスターミナル下車、徒歩約3分)

基調講演

熊本の森林が支える、
私たちのくらしと未来



講師

一般社団法人more trees

事務局長 水谷 伸吉 氏

東京都生まれ。
慶応義塾大学経済学部を卒業後、㈱クボタに入社し、環境プラント部門に従事。
2003年にNPO団体に転職し、インドネシアでの植林を軸に熱帯雨林の再生に取り組む。
2007年、坂本龍一氏の呼びかけによる森林保全団体「more trees」の立ち上げに伴い、活動に参画。事務局長として日本各地での森づくり、熱帯雨林の再生など多彩な活動を手掛けている。

パネルディスカッション

みんなで取り組む森づくり
～熊本の森林をより良くするために
私たちができること～



コーディネーター

株式会社モリアゲ

代表 長野 麻子 氏

愛知県生まれ。
東京大学文学部フランス文学科卒業後、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で呼び続ける。豊かな森を次代につなぐことを天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲを設立。「森を想う人が7割となる未来」をビジョンに掲げ、各地の森をモリアゲている。

パネリスト

球磨村森林組合 参事 犬童 大輔 氏

球磨村生まれ。山梨学院大学法学部卒。2006年入組。現場班長、職員での事業管理、総務部長を経て、2021年に参事就任。令和2年7月豪雨災害からの施設の復旧・復興、森林サービス産業の創出、脱炭素、企業との連携など、森林を活用した地方創生の新たな取り組みを進めている。

日本たばこ産業株式会社 熊本支社 丹代 麻乃 氏

熊本市出身。鹿児島大学卒業後、2017年JT入社。鹿児島支店に配属後、2年間たばこ営業に従事した後、九州支社にて人事業務に携わる。2022年3月より熊本支社にて営業サポート、2023年10月より熊本支社の広報・サステナビリティ分野を担当。JTの森「ゆのまへの魅力」を社内外に発信すべく奮闘中。

株式会社肥後銀行 地域振興部長 大野 隆 氏

熊本県生まれ。九州大学経済学部卒業後、1997年に肥後銀行に入行。2018年にサステナビリティ推進室長に就任。以後、肥後銀行及び300社以上の地元企業のSDGsの取り組み支援に携わる。現在、地域振興部長として、地域の脱炭素化や地下水保全、観光振興、DX推進などの課題に対し、産学官連携による解決支援業務に従事している。

熊本県森林整備課 課長 宮脇 慈

コメンテーター

一般社団法人more trees 水谷 伸吉 氏

◆ お問い合わせ先 (事務局) ◆

熊本県 農林水産部森林局 森林整備課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL: 096-333-2438 FAX: 096-383-7704

(8:30～17:15[土・日・祝を除く])



ボクも
行くモン！

お申込み方法は、
裏面を御覧ください。

13:00～13:05

開会挨拶 (熊本県知事 木村 敬)

13:05～14:05

基調講演 (講師:一般社団法人more trees 水谷 伸吉 氏)

【テーマ】

熊本の森林が支える、私たちの暮らしと未来

14:05～14:20

熊本県水とみどりの森づくり税取組状況報告 (熊本県森林整備課)

14:30～16:00

パネルディスカッション (コーディネーター:株式会社モリアゲ 長野 麻子 氏)

【テーマ】

みんなで取り組む森づくり～熊本の森林をより良くするために私たちができること～

コメンテーター:一般社団法人more trees 水谷 伸吉 氏

パネリスト:球磨村森林組合 犬童 大輔 氏、日本たばこ産業株式会社 熊本支社 丹代 麻乃 氏
株式会社肥後銀行 大野 隆 氏、熊本県森林整備課 宮藤 慈

16:00～

閉会

プログラム

県民の皆様のご協力で、森林の公益的機能が守られています。

森林の公益的機能

～私たちの暮らしを支える森林の働き～

水を蓄える

洪水や渇水を緩和する

森林の土には多くの隙間があり、スポンジのように雨水を吸収して貯えてゆっくりと川へ送り出します。日本は梅雨・台風など雨の季節が集中していますが、こうした働きが洪水を緩和し、雨が降らない時期も渇水を防ぐこともできています。

水質を浄化する

降った雨が土の中を通過している間に、雨水に含まれる窒素やリンなどが土や植物に吸収されます。森林のある地域では清らかな水質を保っています。



災害を防ぐ

山崩れの発生を防ぐ

森林の土の中には木の根が張り巡らされており、網の目のように土石をつかみ、大雨などによる山崩れの発生を防ぐ働きを持っています。



土砂の流出を防ぐ

森林は雨の直撃から地面を守り、地面が削り取られたり流出するのを防いでいます。



温暖化を防ぐ

二酸化炭素を吸収・貯蔵する

森林の樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収して成長しており、森林を適切に整備することで、二酸化炭素を吸収する機能を高めることができます。また、一般的に若い木ほど多くの二酸化炭素を吸収し、伐採された後も木材の中に炭素を貯蔵するので、木材を利活用し、森林の若返りを図ることは、温暖化防止効果を発揮するために大変重要です。



熊本県「水とみどりの森づくり税」

県民共有の財産として健全な森林を守り育て、次の世代に引き継いでいくために、広く県民の皆さんから年間500円(個人の方(※))をお預かりして、様々な施策に活用しています。

(※) 法人は資本金等の額に応じ、年間1,000～40,000円

「水とみどりの森づくり税」を活用したこれまでの取組み

森林の公益的機能の維持・増進

- 伐採後の再造林支援
- 手入れの行き届いていない人工林を自然林に近い状態へ誘導
- 森林の経営管理の集積化
- ニホンジカによる森林被害防止 など

県民の意識醸成や啓発

- 県民による森づくり活動の支援
- 次世代を担う子どもたちへの森林環境教育
- 県産木材を活用した景観づくり など

◆ お申込み方法 ◆

下記の①②③のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① 右のQRコードより申込フォームへアクセスしお申し込みください。
- ② 電話(096-333-2438)でお問い合わせの上、お申し込みください。
- ③ 下記申込書に必要事項を記入の上、FAX: 096-383-7704へお送りください。



熊本県 農林水産部森林局 森林整備課 林政企画普及班

参加申込書(FAX申込用)

申込日: 年 月 日

フリガナ	電話番号	
氏名		
E-mail		
自由記入欄		